

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	記念競輪開催事業費			部課コード	1509	予算事業科目	150101020430	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	商工観光部公営事業事務所	部長名(2次評価者)	古味 勉		個別事務	150101020430	-			
	担当部署	公営事業課	所属長名(1次評価者)	島崎 豊				-			
	電話番号	088-833-2657	E-mail	kc-150900@city.kochi.lg.jp				-			

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け										
会計	15 収益事業特別会計	目標	01 A新しい価値を創造発信する都市	政策基本方針	個性ある観光資源を情報発信するとともに、県域市町村との連携による魅力ある観光資源の創出や、集客力のある観光・コンベンション機能の強化を図ります。						
款	01 競輪費	政策	03 出会いと発見を育む観光・コンベンションの振興								
項	01 競輪費	施策	01 新しい観光魅力の創造								
目	02 開催事業費	区分	06 レジャーとしての競輪の振興								

2 事業の根拠

法律・政令・省令	自転車競技法, 自転車競技法施行規則	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市営自転車競走条例, 高知市営自転車競走条例施行規則	
その他(計画, 覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	すべての高知市民			
意図	どのような状態にしていくのか	単年度収支の黒字を確保し本市財政運営の健全化に貢献するとともに、市民に娯楽と憩いの場を提供し自転車競技の普及を図る。			
手段	事業実施体制等	高知競輪場, 電話投票, サテライト南国, サテライト安田及び各施行者の協力による臨時場外車券売場を開設し, 車券発売を実施する。 事業開始年度 昭和25年 事業終了年度			
活動内容	どのような事業活動を行うのか	〇格付けの高い選手による4日間の開催によって、収益を確保するとともに市民にレベルの高いレースを提供する。各施行者の協力を得て、競輪場及びサテライトを含め100ヶ所程度の臨時場外車券売場を全国に開設する。			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	単年度収支	単年度での収支差。収益事業を評価する基本的な指標。		
	B	発売金	車券発売額。競輪開催を評価する基本的な指標。		
	C	入場者数	高知競輪場への来場者数。		

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	単年度収支	目標 518,723	456,792	450,876	400,727		
			実績 360,300	511,597	362,305			
	B	発売金	目標 19,500,000	8,730,000	8,430,000			
			実績 16,887,518	9,035,673	6,940,811			
	C	入場者数	目標 15,000	11,000	9,700			
			実績 18,807	9,723	9,022			
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	16,549,999	8,532,400	6,585,860	7,106,975		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)	16,549,999	8,532,400	6,585,860		7,106,975
			一般財源 (千円)	0	0	0		0
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	22,500	22,500	22,500	15,000	高知市職員のみ	
		正規職員 (千円)	22,500	22,500	22,500	15,000		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	3.00	3.00	3.00	2.00		
		正規職員 (人)	3.00	3.00	3.00	2.00		
		その他 (人)						
		総コスト= ① + ② (千円)	16,572,499	8,554,900	6,608,360	7,121,975		
市民1人当たりコスト (円)		48,522	25,110	19,453				
年度末住民基本台帳人数 (人)	341,544	340,695	339,714		総コスト/年度末人口			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

○りょうまスタジアム建設起債の償還金を生み出している。
 ○企業の少ない高知市内での雇用確保の場となっている。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 7 日）

評価項目		評価基準	1次 平均 点数	評価内容の説明	
事業実施の必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	3.0 収益、発売金とも目標を超えているのは平成20年度のみであり、収益確保の要でありながら厳しい状況である。	
	② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない			C
事業内容の有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B		3.0 達成度は高く、手法・活動内容とも妥当と考える。
	④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	B	3.0 コストは低下してきているが、収益確保の点から民間活力を利用することが望ましいと考える。	
	⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0 基本的に受益者負担の事業である。	
	⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	14.0	総合評価			
		A 事業継続 （総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）			
		○ B 経費削減に努め事業継続 （総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）			
		C 事業縮小・再構築の検討 （総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合）			
		D 事業廃止・凍結の検討 （総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合）			

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 30 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	
○ B 経費削減に努め事業継続	記念競輪による収益確保が競輪事業全体の単年度黒字の柱となるため、今後も継続し事業の健全経営を図っていく。
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項